

はじめに

「簿記」は、演習が大切です

この問題集は、「社会人のための簿記」講座を読み終えた読者が、知識の定着と理解を深めるために作成されたものです。

簿記の基本を身につけるには、やはり実際に問題を解くことが効果的です。

この問題集は、講義編に沿った基本的な出題ばかりですので、簿記の講義編をしっかりと学んだ人にはやさしい内容になるでしょう。

しかし、どんな学問であっても基本的なことを身につけることが大切です。簿記も例外ではありません。この問題集を反復練習し、簿記の基本をしっかりと身につけてください。

なお、この問題集は、以下のような構成になっております。

- | | |
|---------------|---|
| • 簿記のしくみ | 編 |
| • 資産グループ | 編 |
| • 負債・純資産グループ | 編 |
| • 収益・費用グループ | 編 |
| • 仕訳帳・総勘定元帳 | 編 |
| • 決算整理仕訳 | 編 |
| • 貸借対照表・損益計算書 | 編 |
| • 経営分析 | 編 |

問題集を解きながら、あまり理解できなかったところは、講義編に戻って、再学習してください。

みなさんが、この問題集を十分活用されることで、今後のビジネスライフの一助となるならば、当協会にとって望外の喜びです。

簿記のしくみ 編

問題 1 つぎの①～⑤に入る選択肢を選びなさい。

簿記には、5つ勘定科目のグループがあります。すなわち、貸借対照表に記載される(①)グループ、(②)グループ、(③)グループ。そして、損益計算書に記載される(④)グループ、(⑤)グループの5つです。

(選択肢) (a)収益 (b)費用 (c)資産 (d)負債 (e)純資産
(f)財産 (g)支出 (h)売上 (i)借金 (j)資本金

解答欄	①	②	③	④	⑤
-----	---	---	---	---	---

問題 2 つぎの①と②に入る選択肢を選びなさい。

貸借対照表

(①)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px; font-size: 1.5em;">負 債</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; font-size: 1.5em;">(②)</div>
-----	--

(選択肢) (a)財産 (b)資産 (c)借金 (d)純資産

解答欄	①	②
-----	---	---

問題 3 つぎの①と②に入る選択肢を選びなさい。

損益計算書

(①)		(②)
利 益		

(選択肢) (a)売上 (b)収益 (c)支出 (d)費用

解答欄

①

②

資産グループ 編

問題 4 ①と②に入る選択肢を選びなさい。

資産グループの仕訳ルールはつぎのとおりです。

借 方	貸 方
①	②

(選択肢) (a)増加 (b)減少 (c)発生 (d)取消

解答欄	①	②
-----	---	---

問題 5 つぎの①から⑭の取引の仕訳をしなさい。

① 机とイスを購入し、代金10万円を現金で支払った。

借 方	貸 方

② 普通預金から現金20万円を引き出した。

借 方	貸 方

③ 当座預金に現金20万円を預け入れた。

借 方	貸 方

- ④ 商品を仕入れ、代金10万円は小切手で支払った。

借方	貸方

- ⑤ A社の株券を購入し、代金10万円は現金で支払った。

借方	貸方

- ⑥ C社の社債を購入し、代金300万円は現金で支払った。

借方	貸方

- ⑦ 商品30万円を売上げ、代金は月末に受け取る約束をした。

借方	貸方

- ⑧ 売掛金30万円を現金で受け取った。

借方	貸方

- ⑨ 売掛金の代金として30万円の約束手形を受け取った。

借方	貸方

- ⑩ 30万円の受取手形が決済され、当座預金に入金した。

借方	貸方